

富山県の新しいブランド米「富富富（ふふふ）」 10月11日デビュー。決め手はSNS映えするお米？

東京に勤務していて「富山県の北日本新聞社です」と言う「富山県は食べ物が美味しいところですよ」と言われることが多い。富山県の食に対してポジティブなイメージを首都圏の人に持ってもらっていることは富山県民として嬉しく思う。富山の食の中心になっているのがお米。「コシヒカリ」を中心に、富山のお米の美味しさは知られている。

コシヒカリに次ぐブランド米を目指し、今年10月11日に新品種米「富富富」が全国発売される。読み方は「ふふふ」。お米らしくない名前だが、かわいい印象で女性に人気が出ることを期待したい。「富富富」の特徴は、味が旨味、粘り、香りがいいことに加え、草丈が短く倒れにくい、いもち病に強い、農薬が少なくても育つ安全・安心品質など、生産者にも消費者にもいいことが多い。

ここ数年、同様に新しい米品種は全国各地からデビューしている。北海道「ゆめぴりか」、岩手県「銀河のしずく」、宮城県「だて正夢」、新潟県「新之助」、石川県「ひやくまん穀」など全国の米生産地から続々デビューしている。福井県の「いちほまれ」は今年の9月29日に発売され、「富富富」と発売が重なる。首都圏の百貨店の食品売り場にはこれらのブランド米が並んでいて、「この中から選んでもらうのは大変だな」と思ってしまう。

「富富富」の特徴は百貨店に並んでも映えるパッケージのデザインだと考える。CMキャラクターの木村文乃さんも米袋を持っている。こういったCMでは茶碗にのったアツアツのごはんが写っていることが多いのではと推測する。「富富富」は、かわいいデザインのパッケージを全面に出している。今風にいうと「SNS映えする」お米ではと思う。首都圏では木村文乃さんが出演しているテレビCMや雑誌広告も見かけている。店頭で並んだこのパッケージを見かけたら、ぜひ手に取ってもらいたい。

北日本新聞社 東京支社営業部長 堀井政彦



木村文乃さんが出演する「富富富」の雑誌広告とパックごはん。お米のパッケージを持っているのが特徴



首都圏の百貨店の食品売り場に並び、全国のブランド米。「富富富」も選んでもらえるように期待したい